

平成 18 年 12 月 25 日

各 位

国際石油開発帝石ホールディングス株式会社

代表取締役社長 黒田 直樹

(コード番号：1605)

問合せ先：広報・IR エキスパート・エネルギー・マネージャー 宮本 修平

(電話：03-5448-0205)

リビア探鉱第三次公開入札における鉱区の取得について

～オペレーターとして探鉱鉱区を取得～

当社子会社の国際石油開発株式会社は、北アフリカ地域を投資戦略上のターゲットのひとつとして位置付け、近年積極的に対外開放しておりますリビアの石油探鉱開発事業への進出の機会を検討しております。

12月20日に実施されました探鉱鉱区第三次公開入札におきまして、国際石油開発(株)は、有望鉱区と判断される113-3/4陸上鉱区に三井石油開発株式会社と共同で応札しておりましたが、今般12月24日付けで、同鉱区の事業参加権を取得いたしましたので、お知らせいたします。

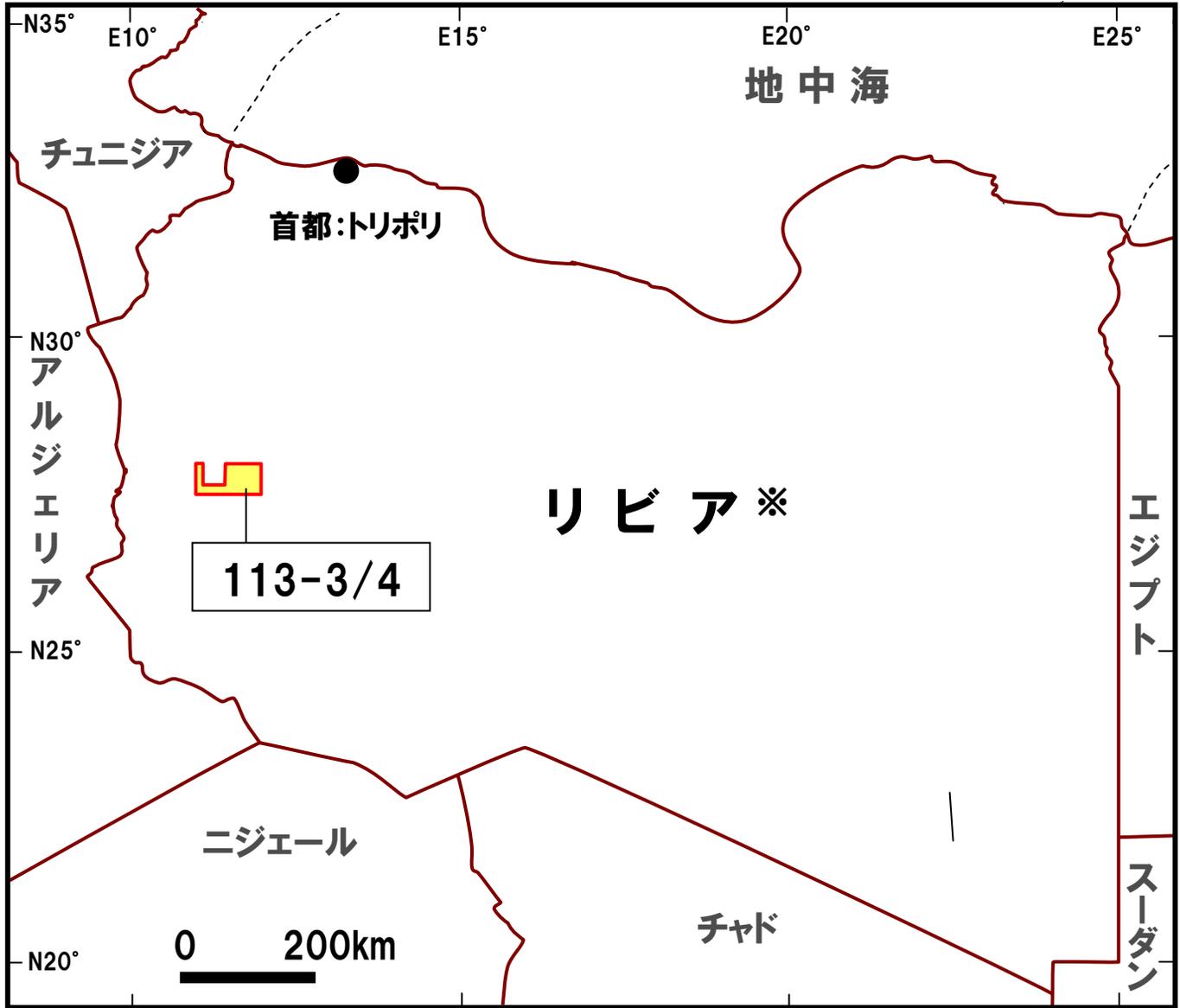
113-3/4 鉱区は、鉱区面積 4,272km<sup>2</sup>、リビア南西部陸上ムルズク (Murzuq) 地域に位置しております。本鉱区の南西に隣接する鉱区では、近年、オーストラリアの Woodside (ウッドサイド) 社が炭化水素を発見しており、本鉱区内での相当規模の油田の発見を期待いたしております。国際石油開発(株)は、85%の権益を保有するオペレーターとして、三井石油開発(株) (15%) とともに、本鉱区における探鉱活動を進めるべく、来年に入ってから、リビア国営石油会社との間で生産分与契約を締結する予定です。

なお、国際石油開発(株)は、昨年実施されました探鉱鉱区第二次公開入札におきまして、TOTAL 社と共同で 42-2/4 陸上鉱区を、また、当社子会社の帝国石油株式会社も、三菱商事株式会社と共同で 81-2/82-3 陸上鉱区を取得しております。

本鉱区の取得により、当社グループのリビアにおける石油の探鉱案件は、4件となりました。当社は、これらリビアにおける事業を安全かつ的確に遂行してまいります。

以上

# リビア探鉱区第三次公開入札-鉱区位置図



※正式名称:大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒーリーヤ国

